入院診療計画書

治療方針：PDカテーテル挿入術（SMAP法）　ver.1

ID:

氏名：　　様

病棟（病室）：　　（　　）

年　　月　　日

推定される入院期間：約4～6日間

【治療計画】

病名

症状

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

その他の計画

在宅復帰支援計画 ＊

在宅復帰支援担当者名

総合的な機能評価◇

日付	月　日		月　日	月　日	月　日	月　日	月　日
経過	入院日～手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	退院日
達成目標	・腹膜透析カテーテル挿入術の目的や方法、合併症について理解し安心して手術に臨める。	・手術後の状態が安定している ・創痛コントロールができている ・痛みが強い時に医療者に伝えることができる	・術後合併症の出現がない ・立位を取ることができる ・薬を飲むことができる	・術後合併症の出現がない ・歩行できる ・食後に気分不快がない	創部に異常がない	→	退院後の注意点を理解できる
安静度 リハビリテーション計画 退院	・リハビリテーションの介入が必要な方は、リハビリテーション実施計画書を作成します。 ・病院内を自由に歩くことができます。	・ベッド上で安静にしていてください。 （術後3時間後よりトイレ時歩行可）	・医師による診察後、看護師と共に病棟内を自由に歩くことができます。	・病院内を自由に歩くことができます。			・午前中に退院できます。
栄養管理計画	・栄養状態の確認を行い、必要に応じて栄養管理計画を立案します。 ・医師が指示した食事を摂ることができます。 ・21時以降は食事を食べることが出来ません。	・麻酔からの覚醒がよければ飲水できます。	・医師による診察の後、水分を摂ることができます。 ・昼から食事を摂ることができます。				
水分	・飲水は早朝(別途指示あり)まで可能です。		・飲水制限は特にありません	→	→	→	
薬剤管理計画	・点滴の針を刺します。	・点滴をします。 ・夜に抗生剤の注射を点滴の管から入れます。	・点滴をします。	→	→	・点滴を終了し、針を抜きます。	
検査内容 及び日程	・採血があります。 		・採血、レントゲン（腹部）があります。		・採血があります。		
手術処置 内容及び日程			・創部消毒、ガーゼ交換を行います 				
清潔 （シャワー・入浴など）	・入浴することができます。		・シャワーを浴びることができます。	→	→	→	
排泄	・歩いてトイレに行くことができます。	→	→	→	→	→	
患者様及び ご家族へ の説明	・医師が手術についての説明を行います。 ・看護師が入院中の生活および手術についての説明を行います。						・医師が退院について説明します。 ・看護師が退院後の生活について説明します。

主治医以外の担当者名	看護師：	薬剤師：	理学療法士：	管理栄養士：

看護計画		主治医	

注1）病名及び治療内容等は、現時点で考えられるものであり、検査・治療を進めていくにしたがって変わり得るものである。
注2）入院期間、表記の日時については現時点の予定である。
注3）＊印は、地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を算定する患者にあっては必ず記入すること。
注4）◇印は、総合的な機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。
注5）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等、様式の変更が直ちにできない場合、その他欄に記載してもよい。